

自然情報誌

ネットワーク梵珠

Vol-32 No.12

発行/青森県立自然ふれあいセンター (第376号)

〒038-1301 青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1

TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510

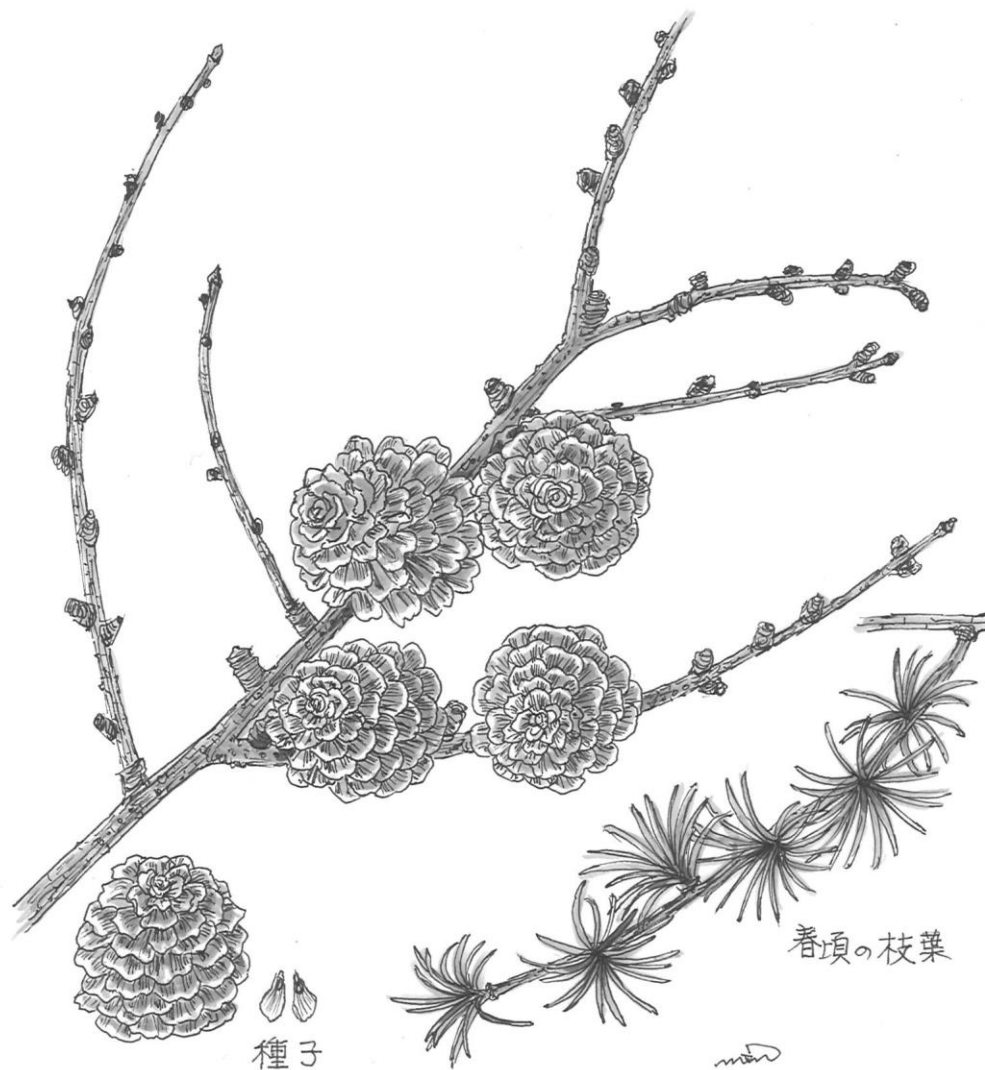
URL <http://www.bonjyu-furesen.info> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

2023.12.15

～小さくてかわいい松ぼっくり～

カラマツ(マツ科) 唐松・落葉松

東北地方の南部から中部地方の山岳部に自生。日本産の針葉樹ではただ一種。
秋に黄葉して葉を落とす。春に受粉した雌しべが成長し、翌年の秋に種子を飛ばす。



梵珠山自然観察・発見ノート

： g g 梵珠山の自然情報！ ○開花 △^{つぼみ}蕾 ×実 （11月中旬～12月中旬）

植 物

木 本 △フッキソウ△イワナシ×ホオノキ×カンボク×ナナカマド×コマユミ×ズミ×ツルシキミ×ヒメアオキ×アクシバ×イチイ×ノブドウ

草 本 ○セイタカアワダチソウ○メマツヨイグサ×ツルリンドウ×コウライテンナンショウ×ユキザサ×オオウバユリ×ツルアリドウシ×サラシナショウマ×ミツバアケビ×ガガイモ

コケ類 トサカホウオウゴケ・オオトラノオゴケ・ネズミノオゴケ・クサゴケ・オオギボウシゴケモドキ・キヌイトゴケ・エゾイトゴケ・オオクラマゴケモドキ・ケクラマゴケモドキ・アオモリサナダゴケ・エダウロコゴケモドキ・トサカホウオウゴケ・チョウチンゴケの仲間

シダ類 コタニワタリ・リョウメンシダ・シュウモンシダ・イヌガンソク・オシダ・クサソテツ・クジャクシダ・コウヤワラビ・サカゲイノデ・サトメシダ・ゼンマイ・ホソバナライシダ・ミゾシダ・ミヤマシケシダ・ミヤマベニシダ・ワラビ

野 鳥

ノスリ・ヤマドリ・キジバト・アオバト・オオアカゲラ・アカゲラ・アオゲラ・コゲラ・ヒヨドリ・カワガラス・ミソサザイ・カヤクグリ・ツグミ・ルリビタキ・エナガ・コガラ・ヒガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・ゴジュウカラ・ウソ・カケス

哺乳類

サル（11/26、27）・リス（11/26、28、12/2）・アナグマ（11/28）ハクビシン（11/28）・タヌキ（12/1.2）・テン（12/2、3）・カモシカ（12/2）

昆 虫

クロテンフユシャク・カメノコテントウ・スコットカメムシ・クサギカメムシ・セシロヒメツノカメムシ ※ウスタビガの成虫

※最新の自然情報については気軽にスタッフにお尋ねください。

【梵珠山周辺の自然】

11月下旬～12月上旬、梵珠山にもまとまった雪が降り、山ではあっという間に50cmもの雪が積もりました。昨年の約5倍の積雪量です。本格的な冬の到来が感じられるこの時期、残された木の実に集まるツグミやヒヨドリの姿が見られました。



ルリビタキ（雌）11/22



ツグミ 11/30



ヒヨドリ 11/30

葉っぱの裏に小さなツブツブ…その正体は？



・11月中旬、センター日曜観察会講師の長尾キヨさんが落葉したブナの葉（4枚）を持ってきました。その全部の葉の裏に3～4mm程のツブツブがあり、その正体を知りたいとのこと。早速センター日曜観察会講師を務める市田忠夫さんに確認していただいたところ、ハエの仲間の虫こぶ（虫癭）^{ちゅうえい}ということでした。幼虫は、虫こぶの内側を食べて成長し、やがて穴を開けて外へ出てくるそうです。

虫こぶはいろいろな形をしたものがあります。この時期注意して樹木の葉などを観察すると、おもしろい形をした虫こぶに出会えるかもしれません。

○森のエビフライは誰のしわざ？

9月19日、アカゲラの道で何かが松ぼっくりを食べた痕跡を見つけました（写真1）。それから10月14日にかけて、いくつか拾って観察してみたのでその結果をお知らせいたします。また、センサーカメラを設置してその様子も撮影できたのであわせてご覧ください。

これらの松ぼっくりは二つのパターンに分けられました。一つ目は、松ぼっくりのカサの部分だけが削られており、スジが残っているもの、二つ目は、カサが根元から削られており、ほとんど芯しか残っていませんでした（写真2）。また、その割合は一つ目のパターンが多く、もう一方はほんのわずかしかなかった。これらはそれぞれ違う動物による食べ跡のようでした。

続いて、同じ期間に設置したセンサーカメラでは、リスやネズミ、ウグイスのような野鳥が撮影されました（写真3~5）。実際に、リスが食べた松ぼっくりはカサを削られているものの、芯まで削られた様子はなく、いくらかぶっくらししたシルエットに見えます。一方で、ネズミが松ぼっくりを食べる様子は撮影されませんでした。なにか木の実をくわえて移動する様子が見られました。以上から松ぼっくりを食べた痕跡はこれらの動物によるものと考えてよさそうです。

このことから一つ目のパターンはリスによるもので、二つ目のパターンはネズミによるものではないでしょうか。また、リスはその場で食事をする一方、ネズミはその場から持ち運ぶ様子が撮影されました。これは松ぼっくりの割合に偏りがあることと関係がありそうです。

今回は食べ跡の観察からリスとネズミの習性を見ることができました。さらにこの一ヶ月で集めた松ぼっくりは496個あり、そのうちのリスによるものは473個、ネズミによるものはわずか19個、その他不明が4個でした（写真6）。一方、食べられた松ぼっくりはどうなってしまったのか、きっと冬の食料としてどこかに蓄えられていると思うのですが、それらについてもいつか調べてみたいと思います。県立自然ふれあいセンターでは、梵珠山にかかわる自然観察会（日曜観察会、各種センター行事など）を実施しています。詳しくは当センターのHPをご覧ください。



ふれあいセンターの
HPはこちらから！

| | | |
|-----------------------|--------------------|-------------------|
| | | |
| <p>写真1 通称:森のエビフライ</p> | <p>写真2 松ぼっくり比較</p> | <p>写真3 リス食事中</p> |
| | | |
| <p>写真4 ネズミ移動中</p> | <p>写真5 ウグイスかな？</p> | <p>写真6 リスの食べ跡</p> |

11月の日曜観察会

開催日（11月19日：曇）

○講師 斎藤信夫さん「シダ植物は枯れたろうか」○講師 太田正文さん「コケの観察⑧」



○講師 針生倭吉さん「晩秋の森で鳥たちは」○講師 工藤忠さん「越冬準備中の虫を探そう」



○講師 市田忠夫さん「11月の昆虫」

10月のサポーターズ隊活動 開催日(10月30日)



市道の落葉清掃を行いました

お知らせコーナー

これからの行事

- *1月 7日（日）「新春梵珠山登山」・新年の登り始めは梵珠山から。
- *1月21日（日）「日曜観察会⑩」講師は、太田正文さん（コケ植物）針生倭吉さん（野鳥）間山良治さん（哺乳動物）です。
- *1月27日（日）「少年自然探検隊（冬）in 梵珠山」・子供たちを対象とした冬の梵珠山遊び体験。
- *2月 4日（日）「梵珠山雪下ろしツアー」・カンジキやスノーシューで施設の雪下し体験をしながら雪山を歩きます。

サポーターズ活動

- *12月、1月の活動はお休みです。2月の活動は、センター行事「雪下ろしツアー」と合同で行います。日時：令和6年2月4日（日）9時15分～14：30まで。昼食の準備、スコップ持参でお願いします。

センターより

- *キャンプ場とキャンプ場トイレは閉鎖しております。
- *マンガンの道の仮設の橋は、積雪による倒壊防止のため撤去しました。
- *第一駐車場の工事が終了しました。

